

SSKS

VOL.134

結の実通信134号

特定非営利活動法人結の実

ご挨拶

理事長 小林 輝彦

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく願いいたします。
また、能登半島地震で被災された方々には、心よりお悔やみ申し上げます。

最初に、障がい者グループホーム事業者の話題が報道されていたので、触れさせていただきます。昨年11月初旬にNHKの7時のニュースで知的障がい者グループホームのワードが出てきました。何の話しかと聞いていたら、ある株式会社の運営するグループホームが、入居者から食材費を過大に徴収していたというものでした。これらの行為は、経済的虐待にも該当するとのことで、関係自治体が調査をしているとのことです。また、報道によるとこの会社は他にも、架空の人員配置を申告し、架空の報酬請求も行っていたとのことです。

同じグループホームを運営する事業者として、このようなニュースはグループホーム自体への社会的信頼を失わせる可能性があるものであり、大変残念に感じました。結の実では、食材費の計算を含む会計業務を、専門資格を持つ職員が担っており、税理士事務所の確認も受けています。清算時期には、余ったからお返しする、足りなかったら徴収させていただくことを徹底しております。

今回の本題に移りたいと思います。「高齢社会」と「入居者の高齢化」について

てです。2024年は、団塊世代が全て75歳以上の「後期高齢者」になる節目の年だというニュースを耳にします。私自身は昨年で50歳になった団塊ジュニア世代ですが、2024年には50歳以上の人口が5割を超えるそうです。このような社会状況に伴い、高齢者に対する社会資源も充実してきました。職員不足の問題を抱えながらも、ビジネスチャンスととらえ、多様な法人が高齢者福祉に参入をしてくれています。

障がい者の分野においても高齢化はよく耳にするテーマです。親の高齢化が進むだけでなく、入居者自身の高齢化も進んでいます。まなゆいでも、還暦前の入居者がおり、体調管理はもちろんのこと様々な問題に直面しつつある現状です。ホーム・まなは2024年4月で開所してから20年目を迎えますが、開設当初より「親亡きあとのためのグループホーム」という説明をしてきました。そして20年経ちそれが現実のものとなってきました。実際に入居時にご両親健在で週末は自宅へ帰っていた方が、今はホームで365日暮しているという例もあります。

他のグループホーム関係者と話をしても、入居者の高齢化に関しては、話題によく出てきます。結の実としても、まずは、入居されている高齢になりつつある入居者について、真剣に考えていく時期にきたのかなと感じております。高齢障がい者の抱える様々な課題に対して、できることから取り組んでいくつもりです。

最後に宣伝になります。前述の通り、2024年度でホーム・まな開所20年目を迎えます。10年目の時は、関係者で食事会を開催してお祝いをしました。今回は、何か形に残ることをささやかながら行いたいと考えた結果、次回通信を開所20年を記念した特集号にすることにしました。今までの20年を振り返るとともに、これからの20年を考えられる内容にしたいと思います。

結の実は地域の障害がある人々や子どもたち、高齢者などに対して、必要とする福祉サービス等を提供し、社会的・経済的自立を支援するとともに、社会参加促進に関する事業を行い、障害の種類・程度に関わらず、すべての人々がゆたかに暮らせる地域社会づくりと福祉の増進に寄与することを目的としています。

グループホーム運営方針

- ① 障がいの程度にかかわらず、入居者が健康で自立した生活が営めるように支援を行なう。
- ② 入居者の個性を理解し、それぞれの入居者が今まで営んできた生活環境を尊重した支援を行なう。
- ③ 入居者の人権を擁護し、就労や社会参加等充実した社会生活が送れるように、関係施設や地域と連携していく。

法人沿革

- 1988年9月 課外グループ「生活ホーム結」設立
- 1991年4月 通所訓練の場「通所施設・結」開所
- 1994年7月 宿泊訓練「生活ホーム・結」開始
- 2001年9月 「特定非営利活動法人 結の実」認可
- 2004年4月 男性ホーム「ホーム・まな」を開所
- 2008年3月 女性ホーム「ホーム・ゆい」を開所

🎃🎃 ～ ゆい ハロウィンパーティー ～ 🎃🎃

10月29日ホーム・ゆいでハロウィンパーティーを開催しました。昨年のハロウィンパーティーを振り返りながら、入居者の方と「化粧を試みるのは？」「仮装はどうする？」と一緒にハロウィンパーティーを計画しました。

当日の化粧と仮装の準備に1時間をかけ、パーティー開催前から大盛り上がり。じっとしてるのが苦手な方も頑張りました!!

皆さん化粧と仮装した姿でカメラの前でポーズ♪♪



パーティーメニューは皆さんのリクエストに応え、ピザとサラダとスープにケーキ🍰を添えました。

パーティーのフィナーレには、職員から手品の披露と10月に誕生日を迎えた入居者に向けた、ギター演奏と一緒にハッピーバースデー🎂をみんなで歌いながらの誕生日プレゼント🎁贈呈♪うれしそうな笑顔でハロウィンパーティーは終了となりました。

化粧や仮装をした素敵な皆さんとたくさんの笑顔が見られた一日となりました。

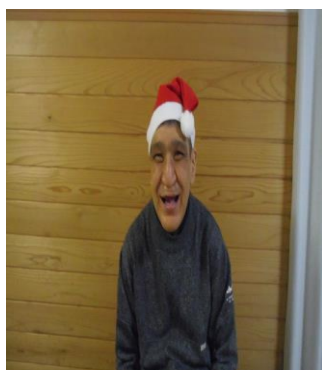


クリスマス会

🍷🍷 まなクリスマス会 🍷🍷

12月19日少し早いですが、まなクリスマス会を開催しました。前日からクリスマスの飾り付けがあるのに気づいて、何度もクリスマス会の日を質問していたNさん。ニッコリ笑顔で参加していました(写真中央)。Yさんは、クリスマスソングを聞きながらリズムを取って、一緒に歌って楽しそう。

料理は手作り(写真右)。チキンを焼いているとTさんのテンションも上がり、にこにこしながら見にきていました。サンタ帽をかぶって仲良く笑顔のRさんとMさん(写真左)。料理とデザートを味わっていました。いつも落ち着いた様子のGさんも、早く食べたいと待ちきれない様子でアピールしていました。



🎁🎁 ゆいクリスマス会 🎁🎁

ゆいクリスマス会は、クリスマスイブ当日の12月24日に開催しました♥。まずは、準備をしながら、サンタの衣装にお着がえ。気分も盛り上がってきます。ピザにサラダ、ケーキとごちそうの準備が進むと、皆の目が輝いていました。乾杯をしてパーティが始まります(写真右、乾杯をするMさん)。サンタ衣装を恥ずかしくて着ることが出来なかったTさんも、美味しそうに食べていました(写真左)。

ごちそうの後はお待ちかねサンタさんからプレゼントをもらう時間です。一人ひとり手渡してプレゼントを受け取りました。すぐに中身を確認して、みんなうれしそう(写真中央プレゼントを確認しているYさんとSさん)。みんなで見せ合いをしていました。一人、

みんな食べ終わっても、ゆっくりと料理を味わっていたNさん、最後には、急いでケーキを食べて、プレゼントを受け取っていました。「また、来年もサンタさん来てね」と話しているゆいの皆さんの願いがかなうことを祈っています！！



7回目となる「紹介」ページですが、今回はホーム・非常勤職員の湯浅美枝子さんをお願いいたしました。

「 思いや気持ちに気づくこと 」

はじめまして。ホーム・ゆいで働いています湯浅と言います。

ゆいで働き始めて5年程、経ちます。

日々の業務の中で、入居者の皆さんの思いや気持ちに気づけていない事が、まだまだあるのだなと思いながら仕事をしています。

私には、30代の障がいのある娘がいます。

グループホームに入居しているので、ゆいの皆さんの日常と重ね合わせ、いろいろ考えることがあります。

当事者の家族としては、日々の生活が安定し、落ち着いたものになってほしいと思っています。また、ゆいの入居者の皆さんの様に、思いや気持ちを受け止めてもらえる様な関係で生活を送ってほしいと思っています。

これからも、入居者の皆さんの思いや気持ちに寄り添いながら、少しでも安心して生活できるように、日々の仕事をしていきたいと思います。

事務局からのお知らせ

- ☆ 2023年6月24日に開催された2023年度通常総会で承認された、第12期役員体制について登記変更手続きを実施したところ、法務局より以下の内容の指摘があったため、指導に従い訂正を行っております。
第10期役員の任期延長を実施している関係上、第11期役員の任期満了日が2023年6月26日となっております。そのため第12期役員の任期は2023年6月27日から2025年6月26日と変更することが指摘されました。
- ☆ 2023年度第4回理事会が2023年11月25日に開催されました。理事会では、2023年度上半期会計報告、2023年度第一次補正予算案、ホーム・まな運営規定改正について、結の実新規事業計画案について討議が行われました。会計報告、補正予算案、運営規定改正案については全会一致で承認されました。新規事業計画案については、提案された「共生型デイサービス事業」に関して意見交換が行われました。
- ☆ 2023年度第2回結の実虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会が、2023年8月26日理事会開催前の時間帯に開催されました。委員会では、虐待防止マニュアルについて、職員研修計画について、虐待防止チェックリストについて、身体拘束適正化指針の見直しについて等の内容が話し合われました。
- ☆ 2023年度上半期内部監査が、12月4日行われました。貞富監事、小林理事長、佐藤事務局長参加で事業監査、会計監査を行っています。監査の結果、事業監査、会計監査共に適正であるとの結果でしたが、以下の検討事項の指摘も受けました。
 - 引き続き業務の標準化に向けてマニュアル整備を進めること。その際には、優先順位を定め、計画的な整備を進めること。
 - 事故やヒヤリハット対策を行う際には、事故報告書、ヒヤリハット報告書の数値に関して前年度対比減の目標数値を掲げて取り組みを行うこと。
 - 人材育成に関して、中堅職員の成長に力を入れるような育成制度の構築を行うこと。
 - 福祉関係の全国規模の団体に加盟し、運営に必要な情報収集を行うこと。

特定非営利活動法人結の実の法人理念や事業運営方針の趣旨にご賛同いただき、ご支援して下さる方々の入会及び寄付をお願い申し上げます。

年会費 2000円

郵便振替口座 00110-2-355729

口座名義

特定非営利活動法人結の実

- * 郵便振替用紙に、お名前・住所・電話番号・〇〇年度会費として、のご記入をお願いします。
- * 入会時期に関わらず、会員資格は年度ごとの更新となります。

寄付 1名 （2023年9月16日～2023年12月15日）

藤田浩子

2023年度 更新会員 51名 （2023年9月16日～2023年12月15日）

2023年度 新規会員 0名 （2023年9月16日～2023年12月15日）

（順不同・敬称略）

☆ご支援まことにありがとうございました☆

結の実通信 134号

『編集』特定非営利活動法人結の実 事務局

〒194-0046 東京都町田市西成瀬 1-39-13

TEL/FAX : 042-725-8693

E-mail : yuinomi@star.ocn.ne.jp

ホームページ <https://yuinomi.org>

『発行』特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会

〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷 3-1-17 ヴェルドゥーラ祖師谷 102号室

TEL : 03-6277-9611 FAX : 03-6277-9555 定価 50円